



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月4日

上場会社名 株式会社 あみやき亭  
 コード番号 2753 URL <http://www.amiyakitei.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐藤 啓介

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部副本部長 (氏名) 松井 貴志

TEL 0568-32-8800

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,908	48.8	28		252		71	10.9
2022年3月期第1四半期	4,642	16.2	1,264		22		64	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 71百万円 (10.9%) 2022年3月期第1四半期 64百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	10.48	
2022年3月期第1四半期	9.45	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	24,226	20,075	82.9
2022年3月期	24,546	20,140	82.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 20,075百万円 2022年3月期 20,140百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		10.00		20.00	30.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定とさせていただきます。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,525	59.4	250		320	59.7	190	58.5	27.74
通期	29,780	38.1	1,000		1,080	18.7	650	3.6	94.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	6,848,800 株	2022年3月期	6,848,800 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	446 株	2022年3月期	446 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	6,848,354 株	2022年3月期1Q	6,848,354 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大防止への取り組みや3度目のワクチン接種が進み、経済活動の制限も徐々に緩和され、回復の動きが続いております。しかしながら、サプライチェーンの混乱、円安、ロシアによるウクライナ侵攻に伴うエネルギー価格高騰など物価を押し上げる要因が重なり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましては、3年ぶりに営業制限のないゴールデンウィークを迎えることができたものの、消費者のライフスタイルの変化、原材料・原油価格の高騰による仕入価格や水道光熱費、物流費の上昇等、取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

当社グループにおきましては、この厳しい状況の中、お客様に選んでいただける店舗づくりを目指し、お客様ご注文方法のDX化を推進しました。

また、食肉工場直送の美味しい「お肉」と精米したての「お米」にこだわったステーキのファーストフード業態である「感動の肉と米」の出店を加速いたしました。

店舗数につきましては1店舗(レストラン事業1店舗)出店し、2店舗(いずれも焼肉事業)退店、3店舗(焼肉事業1店舗・焼鳥事業1店舗・レストラン事業1店舗)業態変更した他、4月に吸収合併いたしました子会社のしゃぶしゃぶ店3店舗(その他の事業)を加え、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は265店舗となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は、6,908百万円(前年同期比48.8%増)、営業利益28百万円(前年同期は1,264百万円の営業損失)、経常利益252百万円(前年同期は22百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益71百万円(前年同期比10.9%増)と極めて厳しいものとなりました。

#### <焼肉事業>

焼肉事業の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、183店舗であります。内訳は、あみやき亭105店舗、あみやき亭PLUS2店舗、どんどん21店舗、かるび家2店舗、スエヒロ館24店舗、ほろたん屋16店舗、ブラックホール5店舗、ホルモン青木他8店舗であります。

当社が経営する「あみやき亭」では、品質の向上に徹底的にこだわり「お客様にとって価値観・満足感のある商品」を提供するとともに、接客・サービス向上に向け「新しい生活様式」に沿ったクリンネス、キッチン・ホールのオペレーション等基本の徹底を図るなどの既存店強化に努めてまいりました。また、あみやき亭PLUSは、和牛食べ放題を中心に、今後とも展開してまいります。

株式会社スエヒロレストランシステムが経営する焼肉「スエヒロ館」につきましては、「スエヒロ」ブランドとの知名度と「食肉の専門集団」である強みを生かした和牛商品を「チェーン店価格」で提供するなどグループシナジーを発揮した展開をしております。

株式会社杉江商事が運営する「ホルモン青木」をはじめとしたホルモン焼店につきましては、当社の「食肉の専門集団」の強みを活かしたコスト見直しを実施するとともにブランドの知名度を活かした展開を行っております。

以上の結果、焼肉事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、5,245百万円(前年同期比41.0%増)となりました。

#### <焼鳥事業>

焼鳥事業の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、43店舗であります。

焼鳥事業は、当社が経営する「元祖やきとり家美濃路」であります。

焼鳥事業におきまして、焼きの技術向上に努め、「美味しくて、安い」焼鳥や釜めしの品質の向上に徹底的にこだわり「お客様にとって価値観・満足感のある商品」の提供をするとともに、接客・サービス向上に向け、基本の徹底を図るなどの既存店強化に努めてまいりました。

以上の結果、焼鳥事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、632百万円(前年同期比80.9%増)となりました。

<レストラン事業>

レストラン事業の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、27店舗であります。

内訳は、当社が経営するステーキのファーストフード「感動の肉と米」10店舗、「ミートグリルAMIYAKITEI」1店舗、株式会社スエヒロレストランシステムが経営するレストラン「スエヒロ館」16店舗であります。

以上の結果、レストラン事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は758百万円（前年同期比71.1%増）となりました。

<その他の事業>

その他事業の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、12店舗であります。

内訳は、当社が経営する小売店「お肉の工場直売市」1店舗、株式会社スエヒロレストランシステムが経営する居酒屋「楽市」3店舗、寿司業態の「すしまみれ」3店舗、イタリアンレストラン「Capitolo 2 dal SpaccaNapoli」1店舗、ダイニング1店舗であります。

また、4月に当社が非連結子会社を吸収合併したことにより、しゃぶしゃぶ店「しゃぶ亭 ふふふ」3店舗が増加しております。

以上の結果、その他の事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は271百万円（前年同期比109.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産額は、24,226百万円となり、前連結会計年度末と比較し、320百万円減少しました。主な要因は現金及び預金の減少によるものです。

負債総額は、4,151百万円となり、前連結会計年度末と比較し、255百万円減少しました。主な要因は未払法人税等の減少によるものです。

純資産額は、20,075百万円となり、前連結会計年度末と比較し、65百万円減少しました。主な要因は利益剰余金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年4月4日の「2022年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,238	8,784
預け金	74	85
売掛金	2	0
商品及び製品	65	68
原材料及び貯蔵品	1,159	1,488
未収入金	1,579	1,330
その他	313	323
流動資産合計	12,434	12,082
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,770	3,735
構築物(純額)	213	221
機械及び装置(純額)	258	259
車両運搬具(純額)	11	9
工具、器具及び備品(純額)	237	349
土地	2,709	2,709
建設仮勘定	15	3
有形固定資産合計	7,216	7,289
無形固定資産		
ソフトウェア	11	13
のれん	721	702
その他	15	14
無形固定資産合計	749	730
投資その他の資産		
投資有価証券	5	—
長期貸付金	299	292
繰延税金資産	1,374	1,357
差入保証金	1,447	1,450
投資不動産	298	298
その他	721	726
投資その他の資産合計	4,146	4,124
固定資産合計	12,112	12,144
資産合計	24,546	24,226

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,089	854
短期借入金	300	300
1年内返済予定の長期借入金	69	73
未払金及び未払費用	1,216	1,176
未払法人税等	365	93
契約負債	77	81
賞与引当金	147	194
株主優待引当金	6	30
その他	285	524
流動負債合計	3,558	3,329
固定負債		
長期借入金	26	10
リース債務	306	301
退職給付に係る負債	6	7
資産除去債務	440	446
その他	66	57
固定負債合計	847	822
負債合計	4,406	4,151
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	15,241	15,176
自己株式	△1	△1
株主資本合計	20,140	20,075
純資産合計	20,140	20,075
負債純資産合計	24,546	24,226

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	4,642	6,908
売上原価	1,829	2,639
売上総利益	2,813	4,269
販売費及び一般管理費	4,077	4,240
営業利益又は営業損失(△)	△1,264	28
営業外収益		
受取利息	0	0
受取賃貸料	14	9
助成金収入	1,227	210
協賛金収入	0	1
その他	1	2
営業外収益合計	1,244	224
営業外費用		
不動産賃貸費用	0	0
支払利息	0	0
匿名組合投資損失	2	0
営業外費用合計	2	1
経常利益又は経常損失(△)	△22	252
特別利益		
受取保険金	—	0
受取補償金	210	—
特別利益合計	210	0
特別損失		
抱合せ株式消滅差損	—	10
固定資産除却損	0	14
減損損失	—	72
特別損失合計	0	98
税金等調整前四半期純利益	187	154
法人税、住民税及び事業税	84	65
法人税等調整額	37	16
法人税等合計	122	82
四半期純利益	64	71
親会社株主に帰属する四半期純利益	64	71



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	64	71
四半期包括利益	64	71
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64	71

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。